

2018（平成30）年度

文部科学省補助事業

『enPiT—成長分野を支える  
情報技術人材の育成拠点の形成—』

プログラム

**受講者募集要項**



公立大学法人 首都大学東京

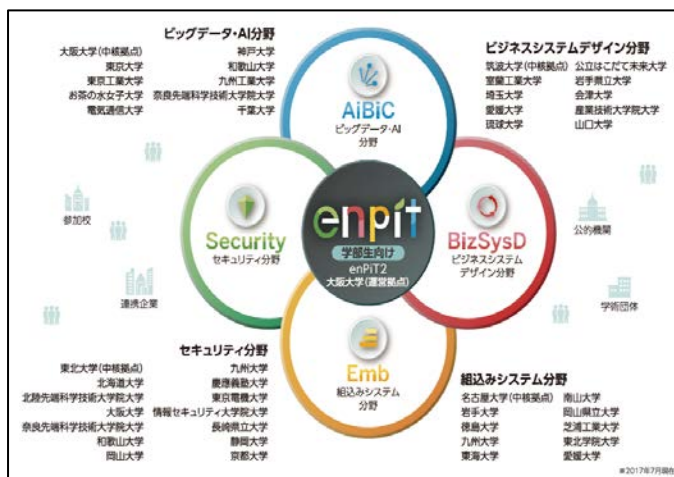
産業技術大学院大学

# 1 『enPiT —成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成—』プログラムについて

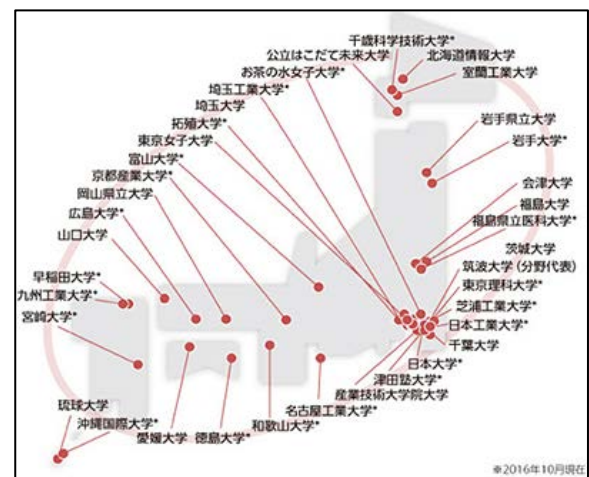
enPiT（エンピット）は日本国内の40以上の大学と産業界が連携して高度IT人材を育成する産学協働の実践教育ネットワークです。enPiTでは社会的要請が強い4つの分野（ビッグデータ・AI分野、セキュリティ分野、組み込みシステム分野、ビジネスシステムデザイン分野）において課題解決型学習（PBL）などの実践的な情報教育を、大学学部3年～4年生および高専生に対して推進・普及します。

産業技術大学院大学は、筑波大学・公立ほこだて未来大学・琉球大学・埼玉大学・愛媛大学などとともに、ビジネスシステムデザイン分野を担当します。enPiT ビジネスシステムデザイン（BizSysD）分野は、社会やビジネスニーズに対する実用的なソリューションとしてのビジネスアプリケーションやシステムデザインを自ら提案、開発し、顧客の潜在的な要求を満たすことのできる人材育成を目指します。

産業技術大学院大学では社会人が学ぶ専門職大学院としての特徴を活かしたPBL型教育のカリキュラムを提供。本プログラム受講者は、PBL基礎の集中合宿および発展学習の分散PBLを通じ、アジャイル開発の実践力を身につけることができます。ビジネスアプリケーション開発やアジャイル開発手法にご興味のある大学学部3年～4年生および高専生の皆様の出願をお待ちしています。



【enPiTの4分野】



【BizSysD分野の連携校・参加校】

## 2 プログラム概要とカリキュラム

### 2-1 プログラム概要

enPiTプログラムの学びは、基礎知識学習、PBL基礎、発展学習で構成されます。7月～8月の基礎知識学習でPBL基礎の受講に必要な知識を学び、8月～9月のPBL基礎にてチームを結成しPBLによる学びを体感します。その後、10月～12月の発展学習では自己組織的にチームを運営しプロダクト（ビジネスアプリケーションなど）の完成を目指します。

## 2-2 産技大 enPiT カリキュラムの特徴

アジャイル開発は、ソフトウェア開発の方法として近年注目されている手法です。しかしながらその本質は、チームによるものづくり活動の「アジリティ」を高めることにあります。産技大 enPiT プログラムではアジャイル開発方法論「スクラム」を中心にアジャイル開発の本質理解と実践力の獲得を目指します。チームの自己組織化や継続的な改善を行うための方法を学び、チーム開発の生産性向上と創造的なものづくりの方法を修得します。チームによるソフトウェア開発を円滑に行うための各種のモダンな道具についても理解します。

## 2-3 プログラム実施日程とカリキュラム

### (1) 受講者募集・選考 (4月～6月)

- ・願書受付締切：6月11日(月)17時まで必着
- ・選考結果の通知：6月25日(月)

### (2) 基礎知識学習 (7月～8月)

- ・科目名：「アジャイル開発概論」
- ・内容：ビデオ教材の視聴を通してアジャイル開発の歴史的背景、チームづくり、スクラムの手法を学びます。

### (3) PBL 基礎 (8月～9月)

- ・科目名：「アジャイルチームキャンプ」
- ・内容：5日間の集中合宿を通して、チームとしてのアジリティ向上と、コラボレイティブ開発のための技術取得を行います。
- ・担当講師：永瀬美穂 特任准教授、中鉢欣秀 准教授

※一定の条件を満たした受講者には旅費・宿泊費の補助があります。

### (4) 受講審査 (9月)

- ・発展学習の前提となる PBL 基礎の修得状況について審査します。審査を通過した人のみ、発展学習に進むことができます。

### (5) 発展学習 (10月～12月)

- ・科目名：「ビジネスシステムデザイン実習」
- ・内容：ビジネスアプリケーションなどのチーム開発を分散 PBL 形式で実施します。アジャイル開発の知見を活用し、アプリケーション開発の実践力を向上させます。アプリケーションのデモとレビューを繰り返し、チーム開発を上手に行う方法を身につけます。

### (6) 成果発表会 (12月末)

- ・発展学習で開発したアプリケーションなどのプロダクトならびに開発プロセスについて、成果発表会の場でチームごとにプレゼンテーションとデモ発表を行います。

### (7) 修了 (3月)

- ・以下の2つの条件を満たしていることを enPiT プログラムの修了要件とします。
  - ①基礎知識学習科目・PBL 基礎科目・発展学習科目を修得していること。
  - ②成果発表会に参加し、成果発表を行っていること。

※プログラム修了者には、修了証を交付します。

## 2-4 修了後のイメージ

「新たなソリューションやサービスを創出できる人材へ」

本プログラムで学ぶことで、先端的な情報技術に関する知識、世の中のニーズを捉える能力、実践的な問題を解決する能力が養えます。本プログラムでの学習を踏まえて、さらに講義・実習・研究活動を通して知識や能力に磨きをかけることで、潜在的なビジネスニーズや社会ニーズに対する実践的問題解決ができる人材を目指せます。

## 3 出願・選考について

### 3-1 応募資格

- ・ Web アプリケーション開発に興味のある大学学部 3 年～4 年生。
- ・ 高専本科 4 年～5 年生・専攻科 1 年～2 年生も応募可能。
- ・ 開講科目をすべて受講可能な人。
- ・ 開発に必要となる技術については自ら学ぶ意欲がある人。

※3～6 名のチーム単位での受講を推奨します。

※IT スタートアップ企業への就職を考える学生には最適なプログラムです。

### 3-2 募集人数

- ・ 10 名程度

### 3-3 受講料

- ・ 無料

### 3-4 出願書類

- ・ 志願者は、次の書類の提出が必要です。

①enPiT プログラム受講願書

②学生証のコピー（表面・裏面）

※受講願書は下記 URL の出願・選考よりダウンロードしてください。

<http://enpit.aiit.ac.jp/>

### 3-5 出願期間

- ・ 願書受付締切：6 月 11 日（月）17 時まで必着
- ・ 願書提出方法：郵便（書留）にて送付してください。
- ・ 送付先：〒140-0011 東京都品川区東大井 1-10-40 産業技術大学院大学 enPiT 事務局 宛
- ・ 出願上の注意事項：受理した書類は返還しません。申請書類に不備がある場合は、受付期間内に補正がなければ不受理となります。また、出願期間を過ぎた出願書類は受理しません。

- ・ 出願書類受理のお知らせ：受理した書類を点検・確認後、出願書にてご指定いただいたメールアドレス宛に、受理のお知らせを送付します。[@aiit.ac.jp](mailto:@aiit.ac.jp)からのメールを受信できるよう、受信許可設定をお願いいたします。6月13日（水）昼12時までにメールが届かない場合は、下記の産業技術大学院大学 enPiT 事務局までご連絡ください。

### 3-6 選考方法

- ・ 書類審査により選考します。応募人数が募集人数を上回った場合、あるいは本プログラム履修に必要な前提条件を満たさないと判断される場合は受講を認められない場合があります。

### 3-7 選考結果の通知

- ・ 選考結果について、6月25日（月）に、出願書にてご指定いただいたメールアドレスへご連絡いたします。その日のうちに通知が届かない場合は、下記の産業技術大学院大学 enPiT 事務局へご連絡ください。受講を許可された方へは、上記通知時に受講に関するご案内を併せて送付します。

### 3-8 開講中止となった場合の取扱い

- ・ 最少開講人数に達せず開講中止となった場合には、郵送により通知します。ご提出いただきました書類については、こちらで厳重に処分します。ご了承ください。

<enPiT プログラムの問い合わせ先>

産業技術大学院大学 enPiT 事務局

〒140-0011 東京都品川区東大井 1-10-40

TEL : 03-3472-7833      FAX : 03-3472-2790

Mail : [opi@aiit.ac.jp](mailto:opi@aiit.ac.jp)      [Web] <http://enpit.aiit.ac.jp/>